

リスクアセスメント & 作業手順書

工事名称	2020年度 東海北陸自動車道 高山管内維持修繕業務 雪氷対策作業		会社名	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋(株)
工期	令和2年11月1日 ~ 令和3年3月31日		作成者	小瀬 裕之
作業名称	視界不良対策(荘川IC Bランプ右路肩)	作業手順書	作成年月日	令和3年1月25日
使用機械 使用設備 (具体的な名称・ クラスを記す)	トラック、標識車、ミニロータリー		現場責任者	日暮サイン
使用工具 機器 (大きなサイズ等は具 体的な寸法を記 す)	スコップ、スノードンプ、足場(ミニロータリー積み降ろし用)、規制材		元請確認	
保護具	ヘルメット、フォック、安全靴、手袋、警笛、黄旗		改正年月日	
免許・資格等 (免)(技)(特)(準)特 の区別を記す	普通免許		作業順序	1 事前調査
作業人員 (当作業に関わる役 職と人員数を記す)	責任者1人、作業員4人、監視員2人			2 準備作業
作業手順	作業責任者(職長)			3 作業開始連絡
周知会	周知会実施日			4 規制設置
参加者				5 排雪作業
サイン (記録)				6 規制撤去
	合計 7名			7 作業終了連絡
				8 後片付け

リスクの見振り	重大性			組み合わせ	リスクの評価	優先度又は実施担当者
	○:軽微 休業4日未満	△:重症 休業4日以上	×:極めて重大 死亡・障害を伴う			
可能性	○:めったに発生しない (5年に1回程度)	○△	○×	○○	1:極めて小さい	関係者に対策の周知
	△:時々発生する (1年に1回程度)	△△	△×	○△、△○	2:かなり小さい	関係者に対策の指示
	×:かなり発生する (6ヶ月に1回程度)	×○	××	○×、△△、×△	3:中程度	職長が確認
		×△	××	△×、×△	4:かなり大きい	工事担当責任者が確認
リスクレベル	5=十分に訓練をした対策が必要 4=工事担当責任者が確認 3=職長が確認 2=関係者に対策の指示 1=関係者に対策の周知					

作業項目 (誰が)	内容 主なステップ	留意事項 作業のポイント	危険性・有害性の洗い出し (予想されるミス、ロス)	可能性	重大性	評価点	リスクレベル	優先度又は実施担当者 危険性・有害性の除去・低減のための 実施すべき事項の特定 (防止対策)
事前調査(雪氷巡回等)								
準備作業	ミーティング	健康状態の確認 免許・資格等の確認						
	機械・道具の点検	日常点検により機械・道具 の動作の確認						
	作業箇所の確認	雪氷本部で当日作業箇所 と規制簿の確認						
	積み込み	トラックにミニロータリー・ 道具・ガソリン・規制材を積 み込む						
		健康状態の確認・免許・資格等の確認・光物(チョッキ・脚絆・ヘッドライト等)の充電確認・業 務用プレートの確認・入場方法・入場箇所・車両順番・役割分担の確認・車両の始業前点 検・工具の確認・積み込み荷の確認(落下・飛散対策)荷締め位置、荷台のネット・シート 掛けの確認する。工事車両がロープ及び養生テープで確保・固定されていることを確認。 担当者は施工計画段階でNEXCOと打合せした内容を作業員へ周知・報告すること。 車両出入庫の際に、運転手は車両の周囲(上下含む)を指差し、障害物がない事を確認の うえ、出入庫する。						
作業開始連絡	雪氷本部にて作業開始 連絡	規制簿を入れてもらい、低 速車・速度規制が入っているか 確認する。						
規制設置	路肩へ流入	路肩の積雪状況を確認	路肩へ流入する時に、雪の中に無理 やり突っ込みスタックする。	△	△	△	3	流入箇所の手前からハザード・回転等で注意喚起を行いな がら低速し、路肩を確認して雪が多い場合は無理して入らな
	移動規制の設置	Bランプ左路肩に車を止め、 通行車両の切れ目を 指し合い右路肩に移動さ せる。	規制を設置する時に、通行車両の 接近に気づかず、車にひかれる。	△	×	△	4	監視員は通行車両を注視し、通行車両接近時は早めに合図 をとり、素早く退避する。
	排雪作業	(図④)の通り規制材を配 置していく。	規制を設置する時に、雪で足が滑り 転倒する	△	△	△	3	足元を事前に確認し、慎重に作業を行う。
	排雪作業	ミニロータリーをトラックの 荷台から降ろす。	ミニロータリーを降ろす時に足場から 足を踏み外し転落する。	△	×	△	4	足場をしっかり確認しながら慌てず低速走行でミニロータリー を降ろす。
	排雪作業	ミニロータリーで排雪	雪をミニロータリーで飛ばす時に、 シュート方向を開通し、通行車両に あたる。	△	×	△	4	作業前にシュート方向を確認する。また、作業方向を変える時は一旦 作業を止め、再度シュート方向の確認を行う。
	手元作業	ミニロータリーで作業でき ないところは手元作業員の 手により確認する。	スコップで雪を除去している時に、 ミニロータリーに近づきすぎオーガに 巻き込まれる。	△	×	△	4	作業間隔を5m程度離し、ロータリーの位置を確認しながら 作業を行う。
	最終確認	責任者は現認性が確保さ れたこと確認する。						
	片付け	ミニロータリーについて いる雪を圃地内にて除雪し、 トラックまで回送する。						
	片付け	トラックに足場を設置し、ミ ニロータリーを低速走行で 積み込む。	ミニロータリーを積み終わったとき に、荷台から飛び降りけがをする	△	△	△	3	荷台から降る時はステップを利用し、ゆっくり降りる。
規制撤去	移動規制の撤去	移動規制の手順書通りに 規制を撤去する。						
	路肩から流出	後方確認を目標に行い 現場を離脱する。						
作業終了連絡	雪氷本部へ作業終了連絡	別の区間で作業をする時は、 規制番号を報告する。						
後片付け	洗車・給油を行い車両 を片付ける							工事車両を取外した場合は専用のケースに 確実に格納し庫内に保管する事
※ 作業ができなかった箇所は本部に連絡し、別の作業方法等を検討する。								